

各 位

平成 15 年 6 月 6 日

会 社 名 長野日本無線株式会社
代表者の 代表取締役社長
役職氏名 田中 章博
(コード番号 6878 東証第2部)
問合せ先 取締役総務本部長
若狭 市博
企画広報室
(電話番号 026-285-1205)

コンティネンタル・テーベス株式会社へのABSセンサ事業の営業譲渡について

当社は、Continental Teves AG & Co. oHG（以下「CT」）と日清紡績株式会社との合併会社であるコンティネンタル・テーベス株式会社（以下「CTC」）に、自動車用制御部品であるABSセンサ事業（子会社1社を含む）の営業を譲渡することに関し、基本合意に至りましたのでお知らせいたします。

1. 営業譲渡の経緯

当社の主力事業の一つであるABSセンサの市場環境は、世界的に需要は拡大しているものの、既存メーカーの供給力増加、後発メーカーの参入等を主因とし、コモディティ（汎用）化が進行しております。また、自動車部品メーカーの世界的な競争激化により低価格化が進行した結果、ABSセンサ事業の採算性は厳しさを増しております。

このような市場環境の中、当社の主要顧客であり世界的な自動車部品メーカーであるCTは、世界戦略の見直しを実施しており、当社のCTへの売上も今後減少していくことが見込まれます。

そこで当社は、平成14年度より実施しております経営再建計画「プロジェクト・R」に沿った事業ポートフォリオの見直しの一環として、ABSセンサ事業強化のための諸案を、CTおよびCTCと検討してまいりました。その結果、CTCが当社のABSセンサ事業を運営することが、最終的に両社にとって最適であるとの判断に至り、本日CTCと営業譲渡に関する基本合意をいたしました。

2. 営業譲渡の内容

(1) ABSセンサ事業の内容

自動車用アンチスキッドブレーキシステム用のアクティブおよびパッシブの車輪速センサ（含む半製品）、その他関連製品の製造、販売

(2) ABSセンサ部門の平成15年3月期における経営成績

売上高：74億円

(3) 譲渡資産、負債の項目および金額

当社が保有するABSセンサ部門の資産・負債および製造子会社の株式すべてが譲渡対象ですが、詳細については未定であります。

(4) 譲渡価格および決済方法

未定であります。

尚、詳細につきましては、決定次第お知らせ致します。

3. 営業譲渡先（コンティネンタル・テーベス株式会社）の概要

（平成 15 年 5 月 31 日現在）

商号	コンティネンタル・テーベス株式会社
主な事業内容	自動車用ブレーキ製造
設立年月日	平成 12 年 12 月
本店所在地	東京都中央区日本橋浜町 2 -62- 6 品川不動産浜町ビル 7 F
代表者	馬場 璋
資本の額	1,390 百万円
大株主構成および持分比率	C T（ドイツ フランクフルト所在）：51% 日清紡績株式会社：49%（東証一部上場）
当社との関係	当社の A B S 製品の主要顧客であり、A B S 装置の生産を行っている。

4. スケジュール（予定）

平成 15 年 7 月	営業譲渡契約書締結
平成 15 年 8 月	営業譲渡契約書承認株主総会
平成 15 年 10 月 1 日	営業譲渡期日

5. 異動子会社の概要

（平成 15 年 5 月 31 日現在）

商号	恩佳昇（連雲港）電子有限公司
主な事業内容	自動車用アンチスキッドブレーキシステム用のアクティブおよびパッシブの車輪速センサ（含む半製品）その他関連製品の製造
設立年月日	平成 9 年 4 月 1 日
本店所在地	中国江蘇省 連雲港市 宋跳
代表者	松本 有司
資本の額	3,680 千 US\$
従業員数	1,353 名
大株主構成および持分比率	当社：100%
当社との関係	当社の 100% 子会社。 当社は、A B S センサの製造を委託しております。

6. 今後の見通し

当社は、経営再建計画を実行する中で、一層の財務体質および収益体質の強化と、新規成長事業への経営資源の集中を図り、安定的に収益を確保する所存であります。

譲渡後の業績見通し

平成 16 年 3 月期の業績見通しにつきましては、予測しうる範囲内で織込み済みでありますので、影響は軽微であるものと判断しております。

譲渡後の連結業績見通し

平成 16 年 3 月期の業績見通しにつきましては、予測しうる範囲内で織込み済みでありますので、影響は軽微であるものと判断しております。

以 上